東京科学大学疾患バイオリソースセンターの
バイオバンク事業へ同意頂きました患者さんへ

東京科学大学　膠原病・リウマチ内科では、関節リウマチ、特発性炎症性筋疾患、成人発症スティル病、全身性強皮症、全身性エリテマトーデス等の自己免疫疾患の新しい治療法開発に取り組んでいます。研究課題「「遺伝子発現解析に基づく自己免疫疾患の病態解明」（医学系倫理委員会　承認番号 G2018-028）では、本学の疾患バイオリソースセンターのバイオバンク事業へ同意された患者さんの試料を用いて、これらの疾患の研究を行っています。病態を明らかにすることで、新たな治療薬の開発や、診断や治療の指標をみつけることを目指しています。

この研究は、本学医学系倫理審査委員会の承認と、研究機関の長の実施許可を受けて実施するものです。

本学の疾患バイオリソースセンターのバイオバンク事業へ同意された患者さんで、本研究への試料・情報の使用にご了承いただけない場合には、バイオバンク事業への同意撤回となりますので、下記の連絡先までご連絡下さい。

また、この研究について、ご不明な点や何かご心配なことがある場合にも、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

【研究課題】

「遺伝子発現解析に基づく自己免疫疾患の病態解明」
（医学系倫理審査委員会　承認番号 G2018-028）

【研究の目的、方法】

東京科学大学　膠原病・リウマチ内科では、関節リウマチ、特発性炎症性筋疾患、成人発症スティル病、全身性強皮症、全身性エリテマトーデス等の自己免疫疾患の新しい治療法開発に取り組んでいます。この研究で本学のバイオバンク事業に同意された方の試料及び情報を用いる場合には、関節リウマチ、特発性炎症性筋疾患、成人発症スティル病、全身性強皮症、全身性エリテマトーデスに罹患している 20 歳以上の患者を主な対象患者さんとし、対照群として変形性関節症と上記以外のその他の膠原病（血管炎症候群など）に罹患している 20 歳以上の患者さんも対象としてます。下記の試料や情報を詳細に解析することで、どのような異常が生じているのか病態を明らかにすることで、新たな治療薬の開発や、診断や治療の指標をみつけることを目指しています。

【利用する試料・情報の種類・項目】

本学のバイオバンク事業に同意された方の試料及び情報を用いる場合には、バイオリソースセンターに保管されている血液及びバイオバンクサマリに記載されている範囲での診療情報（年齢・性別・病歴(治療経過)・治療薬剤・採血データ）を用いて解析を行います。バイオリソースセンターに保管されている血液及び資料について、個人が特定されることはありません。

【研究機関名及び自機関の研究責任者氏名】

・主たる研究機関
膠原病・リウマチ内科（研究責任者：保田　晋助）

・共同研究機関
東京科学大学　整形外科、運動器外科（研究責任者　古賀　英之）
日本鋼管福山病院（研究責任者：高原康弘）
苑田会人工関節センター病院（研究責任者：杉本和隆）
理化学研究所　（研究責任者：石垣 和慶）
千葉大学　（研究責任者：川上　英良）
日産厚生会玉川病院（研究責任者：野田　聖二）
キール大学（研究責任者：Andre Franke）
藤田医科大学　（研究責任者：寺尾　知可史）

【研究期間】
承認日～2028 年 12 月 31 日
記載の研究期間終了後も継続する場合は、研究期間延長の申請を行う予定です。

【利益相反】
この研究は研究費によって行われますので、患者さんに負担していただく費用はございません。また、研究の参加に対して、報酬は支払われません。
本研究の実施にあたっては、文部科学省科学研究費補助金、および寄附金を用いて行われます。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。
※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらう ことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究 結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

【連絡先】
研究責任者連絡先：東京科学大学　膠原病・リウマチ内科
教授　保田　晋助
〒113-8519　東京都文京区湯島 1-5-45
電話：03-5803-4773（ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ）（平日 9：00～17：00）

苦情窓口：東京科学大学 研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ
03-5803-4547（対応可能時間帯 平日 9:00-17:00）